

広域飯能斎場施設整備計画(案)に対する パブリックコメントの実施結果について

1 実施概要

- (1) 募集期間 令和5年12月25日(月)～令和6年1月18日(木)
- (2) 募集方法 入力フォームでの回答(インターネット)、意見箱への投函
意見箱は広域飯能斎場事務室前と構成市担当課窓口に設置
- (3) 対象者 組合構成市民及び葬祭業者
- (4) 周知方法 組合ホームページ、組合構成市ホームページ及びSNS
- (5) 閲覧場所 組合ホームページ、広域飯能斎場事務室窓口、構成市担当課窓口

2 結果

回答者数 10名 意見数 15件

番号	意見 番号	意見等(※原文のとおり)	対応(修正等)
1	①	火葬終了時に喪主に確認の為 目の前で炉を開くなら 前室を設けるべきかと思えます。気持ちもまだ、落ち着いてない状態で 熱気と共に故人の遺骨が出てくるのが辛いです。構造的に前室を増設が不可ならパーテーションなどで困って ある程度冷ましてからの方がいいかと(左右の熱干渉もあって冷めにくいとは思いますが)	設計の段階で明記しますが、ご遺族の心理的負担を考慮し、新斎場の建設の際には、炉前に前室を設ける予定です。
2	①	現時点での計画では建物の配置や必要面積、駐車場の配置計画が見受けられましたが、その建物や駐車場の周辺にぐるりと一周回れる、植栽計画と一体となった「散策路」の計画を求めます。 それは故人を偲ぶ時間になると共に、多く人が集まりすぎてしまった際のバッファ、また小さな子供など静かに待てない場合の逃げ場など、ゆとりある斎場運営にも寄与するかと思えます。 さらに可能であれば、その散策路は「公園」的に常日頃から出入りできる場所として、斎場自体を街に開いていく＝忌み嫌われる場所でなく、日常的に立ち寄ることのできる憩いの場として、市民感情もプラスに醸成していくのが良いのではないのでしょうか。	植栽計画と一体となった散策路の設置等については設計段階で検討いたします。 貴重なご意見ありがとうございました。

3	①	建設に当たりZEB認証など国の補助金を利用すべきと思います。	ZEB 認証に必要な設備の導入コストなどを考慮し可能な限り省エネルギー化に取り組んでいきます。 また、国や県の各種補助金についても情報収集に努め、活用できるものについては利用していきます。
	②	P 1 1 熱交換器併用型とあります。停電時でも稼働できるように排熱を利用して発電設備を設置したらいかがでしょうか。	導入コストを考慮し、排熱利用も含めて、停電時のバックアップ体制を構築していきます。
	③	P 1 4 BCPについて、職員が宿泊できる機能も必要と思います。	非常時の優先業務に対応できる施設等の設置を検討していきます。
	④	P 1 7 完成までの期間が長い、資材高騰などで事業費が見直されることが無いような契約とされたい	簡素で機能的な新斎場を念頭に、各組合構成市の厳しい財政事情を踏まえ、事業費の削減に努めます。
4	①	家族葬のニーズに合わせた葬儀の実現をして欲しい。 現在動物をクリーンセンターで焼却しているのは心苦しい。	基本方針①のとおり将来の火葬需要や葬送の多様化への対応が可能で、利用者のニーズに的確に応える施設としていきます。
	②	動物専用の焼却炉や葬儀もできる様にして欲しい。	今回の施設整備計画は、現施設の老朽化、火葬件数の増加に伴う火葬能力不足などの対策から策定したものですので、動物炉の設置について、今回の施設整備計画では設置を予定しておりません。 今後、動物炉の建設場所の確保、建設に関する費用、動物火葬の需要状況など、動物炉設置について課題などを整理し、必要性を検討し、整備を進めていく上で検討させていただきます。
	③	駐車場の台数を増やして欲しい	駐車台数に不足が生じないように、整備を進めてまいります。

5	①	<p>現在、狭山市周辺では、愛玩動物を火葬する際、遠方の他市の公共火葬場に依頼するか、やはり他市の民間業者に高額な依頼料をもって依頼するしかない状況である。愛玩動物の家庭内の地位も上がっており、公共施設にて安心して火葬できることを個人として望んでいる。</p>	<p>今回の施設整備計画は、現施設の老朽化、火葬件数の増加に伴う火葬能力不足などの対策から策定したものですので、動物炉の設置について、今回の施設整備計画では設置を予定しておりません。</p> <p>今後、動物炉の建設場所の確保、建設に関する費用、動物火葬の需要状況など、動物炉設置について課題などを整理し、必要性を検討し、整備を進めていく上で検討させていただきます。</p>
6	①	<p>使用燃料についてLP ガスをご検討を阪神淡路大震災、東日本大震災、そしてこの度発生した能登半島沖地震など大規模な自然災害の際に、LP ガスは素早い復旧が可能な分散個別型の災害に強いエネルギーとして広く認知されています。災害時においても斎場の運営継続が求められます。長期間の運転停止をふせぐことは防災行政上極めて重要であります。また、将来、より脱炭素に向けたエネルギーへの転換を見据えた場合にも設備の転換は容易であります。燃料の選定にあたり LP ガスの導入について特段のご検討をお願いします。</p>	<p>災害時の斎場運営の継続は重要な課題と認識しています。災害時の代替燃料も含めて使用燃料を検討します。</p> <p>火葬炉設備についても将来のエネルギーの転換を見据え、水素やバイオ燃料などの利用を含め、設備の更新がしやすいものとしします。</p>
7	①	<p>火葬場・葬祭場の空き状況・予約をWEB上でできるようにしてほしい</p>	<p>いただいたご意見を参考に、新斎場稼働時には新たに予約管理システムを導入するなど、利便性の向上を図っていきたいと考えております。</p>
8	①	<p>高齢化社会により、今後斎場の利用者が多くなり、待ち期間が長期化する可能性がある。よって施設の増設又は要領の簡素化等の施策をとってもらいたい。</p>	<p>施設整備計画（案）でもお示ししたとおり、既存の火葬炉6基に対して新斎場の建設に際しては、8基設置予定であります。また、1炉1炉前ホールにより動線の簡素化を図ります。これにより、受入れ件数も1日11件から16件に増加し待ち日数の短縮が図られる予定です。</p>

9	①	<p>火葬するのにかなりまたされることがあるので、すぐに火葬できるようにしてほしい。</p>	<p>施設整備計画（案）でもお示ししたとおり、既存の火葬炉6基に対して新斎場の建設に際しては、8基設置予定であります。また、1炉1炉前ホールにより動線の簡素化を図ります。これにより、受入れ件数も1日11件から16件に増加し待ち日数の短縮が図られる予定です。</p>
10	①	<p>衛生器具設備について 水洗はセンサースイッチを希望します。トイレの緊急時呼び出しボタン対応可能なものを希望します。</p>	<p>いただいたご意見は、施設整備計画作成の参考とさせていただきます。</p>